



るうてる



2016年
7月
No.823

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区山谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>

■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp

■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社

■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)

■振替口座 ■ 00190-7-1734

説教 「エンキリディオンの必携」

日本福音ルーテル保教協会牧師・日本ルーテル神学校 平岡仁子

「そして、彼はそこをたち、父親のもとに行つた。ところが、まだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、憐れに思い、走り寄つて首を抱き、接吻した。息子は言った、『お父さん、わたしは天に対しても、またお父さんに対しても罪を犯しました。もう息子と呼ばれる資格はありません。』」

(ルカによる福音書15・20～21)

宗教改革500年を記念して、ルターの「エンキリディオン小教理問答書」が新たな翻訳によって出版されました。そのまえがきには次のように書かれています。

「ルターはこの小冊子を『エンキリディオン』、『必携』と名付けました。…キリスト者が個人でも家庭でも必携として、聖書と共に身近に置き、機会ある毎にこれに目を通すだけでなく、これに従つて生活を整えることを願つてのことでした。」

そして、解説ではこのように語られます。「1503年にキリスト教的人文主義者エラスムスがラテン語で『エンキリディオン』という本を出版した。これは『キリスト教戦士必携』として知られている。…恐らく「エンキリディオン」(必携)という言い方は当時流行語になつていたのかも知れません。」



Rembrandt: The Return of the Prodigal Son

エンキリディオンとは護身用の武器である「短剣」を意味し、後にそれが「必携マニユアル」という意味で用いられるようになりまし。そして、私たちはエンキリディオンがキリスト者の命を守る短剣であることを、レン

にもかかわらず、見る者が驚くほどのものをその息子は身に付けているのです。それは、ぼろぼろのいでたちの息子が腰に

携えている、惨めさとは対照的なほど立派な短剣です。そして、この短剣こそがエンキリディオンなのです。

レンブラントが描いた「放蕩息子の帰郷」の絵に関する著書の中で、ヘンリ・ナウエンはこの短剣について次のように語ります。「ユダはイエスを裏切つた。ペトロはイエスを否定した。二人とも、道に迷つた子どもだった。ユダは、神の子どもであることを思い起こさせる真理をしつかりと握り続けることができず、自殺した。放蕩息子に置き換えて言えば、息子である証しの短剣を売つてしまったのだ。『放蕩息子の帰郷』と。

レンブラントが放蕩息子の腰に描いたこの短剣こそ、父の子であること、父の子どもであることを思い起こさせる真理をしつかりと握り続けるため、に必須のものであったと語るのです。

そして、ルターはエンキリディオンを教理問答と結びつけ、小教理問答書を『エンキリディオン(必携)』と名付けました。父の子であることを思い起こさせる神の言葉の真理を捨て、失わないうために、そして、この真理をしつかりと握り続けるために。

レンブラントは、敬虔なプロテスタントの信仰者であり、「オランダ人はレンブラントによって、聖書の精神を教えられた。」と言われたほどの人物でした。だから、レンブラントが描いた腰の短剣は、息子に父の子としての記憶を持ち続けさせるものであったに違いありません。

すなわち、信仰深かつたレンブラントは、短剣・エンキリディオンを、父の子であることを思い起こさせ、真理を保ち続けるものとして、息子の身に帯びさせたに違いないのです。だからこそ、放蕩の限りを尽くした息子は父のもとに、再び帰ってくる事ができたのだと。

父の家へ帰る道を私たちに教え、常にこの道をたどるようにその手に神の子としての約束を握り続けさせるエンキリディオンを私たちがまた身に帯び、主イエス・キリストの十字架と復活によつて示された命の道と共に歩んで行きましょう。

「だが、お前のあの弟は死んでいたのに生き返つた。いなくなつていたのに見つかったのだ。祝宴を開いて楽しみ喜ぶのは当たり前ではないか。」

(ルカによる福音書15・32)



④『Rock 'n' Roll』

先日、なぜだかふと、ジョン・レノンの言葉を思い出しました。「ロックは死んだよ。宗教みたいになつてしまつたんだ。セックスピストルズが最後のロックンロールバンドだったんだ。」

中学生の頃聴いたセックスピストルズのシドヴィンヤスは「I am an anarchist! I am an anarchist!」と叫んでいた。だからでしょうか。今でも私にとつて「Rock」と「anarchist」精神は深く結びついています。もちろんこれは、とても個人的な感想です。ボブ・ディランも歌っているように「今新しいことも明日には古くなる。時代は動いている」(『The Times They Are A-Changin』)からです。

ところで、聖書には、主イエスがエルサレムに入つていられるとき、人々が熱狂的に彼を迎えた様子が記されています。「前に行く者も後に従う者も叫んだ。ホサナ」(マルコ11・9)と。

しかしこのとき、主イエスが乗っていたのは「子ろば」でした。熱狂する人々の間を子ろばに乗って進んでいく主イエスの姿は、熱狂するファンに対して拳を突き上げ煽動するロックスターのそれとは正反対の姿のように思えます。そんな主イエスの姿は、熱狂を煽るのではなく、熱狂を鎮めようとしておられるかのよう

です。

では、なぜ熱狂を鎮める必要があるのでしょうか。それはきつと、ある種の熱狂は暴力に結びついているからです。主イエスはそのような熱狂と結びついた暴力によつて十字架につけられたのですから。

けれども、主イエスの示された平和に結びついたふるまひは、死んで最後になつたりせず、今も生きていられるのです。

岩切雄太
門司教会 八幡教会 佐賀教区牧師

第4回 全国青年ハイパルキャンプ

テーマ:「奉仕を通して神を証しする」
開催日: 2016年8月18日(木)～21日(日)
開催地: 熊本
参加費: 1万円 (交通費補助あり)
対象年齢: 19歳～35歳
応募期日: 7月24日(日)
テキスト: ■「ディアコニア入門: 共に生きるために」石居正己・門脇聖子著
■「だれにでもできる楽しい聖書研究法-聖書研究の手引き」森優著

※必ず居住地域の社会福祉協議会にてボランティア活動保険への加入のこと※詳細についてはTNGのサイトにてご案内します。
<http://www.jelc.or.jp/tng/>
宣教室 TNG 委員会 YOUTH 部門 (竹田大地)



議長室から

「ビッグイシュー」という雑誌があります。月2回発行されている30ページの小雑誌ですが、表紙には「ホームレスの仕事をつくり自立を応援する」という副題的な言葉があります。350円が売値ですが、そのうちの180円が販売者、つまりホームレスの方の収入になるのです。政令指定都市のような町でしか入手できないのですが、駅前付近で雑誌を手で掲げながら立っている姿を東京では時々見かけることがあります。先日もお出くわしましたので、少しでも自立応援のお手伝いをと思い、何冊か買い求め

たとえ少数派であつても

総会議長 立山忠浩

ことにしました。

実は、この雑誌を買い求めている理由はもうひとつあつて、それは記事がとても面白いからなのです。

先日の号には、水草の研究者へのインタビュー記

市のような町でしか入手できないのですが、駅前付近で雑誌を手で掲げながら立っている姿を東京では時々見かけることがあります。先日もお出くわしましたので、少しでも自立応援のお手伝いをと思い、何冊か買い求め

水草の生態は「水から陸へ、そしてまた水へ」という進化の歴史を辿つて来たというのです。進化の主流に逆行したのですから、水草は異端の植物なのです。今、陸上には35万種の植物が存在するら

しいのですが、水草はそのうちのわずか1%にも満たず、2800種に過ぎないそうです。

この1%という数字から自ずと連想するのが、日本のキリスト者の割合です。実際の正確な数字では人口の1%にも満たない

と言われています。水草と同じような少数派と言えるでしょう。

ですが、遺伝子を残すために、ライバルの多い陸上よりは水中の方がより生き延び易かったのではないかとこの仮説が紹介されています。ここから、日本のキリスト者にとつても教会は、より安心して生きられる居心地

定、ママベク測定(子育てをしている母親達による学校敷地などでの測定、砂浜放射能測定、土壌放射能測定、全身放射能測定と、時間が経つごとに薄れていく「見えな



いわき放射能市民測定「たちね」とその働き

プロジェクト3・11
企画委員 小泉 嗣

東教区プロジェクト3・11が継続的に支援を続ける「認定NPO法人いわき放射能市民測定室『たちね』」は、「わたし

たちは、『いわき放射能市民測定室』を設立します。原子力発電所の事故による広範な放射能被害の下

で、不安な生活を強いられているわたしたち自身が、よりよく、より強く、生きていくために、それを設立するのです。」という設立の趣旨と、放射能の不安と闘う地域の人々と共に生きるという基本姿勢はそのままに、震災から5年の経過と共に地域の人々のニーズにあわせてその活動は少しずつ姿を変えています。

私たちが支援をはじめた3年前は食品放射能の測定と子どもたちの甲状腺検査だけでしたが、現在ではβ線の測

良い空間ではないかと感じるの私だけではないでしょう。

さらに興味深い文章が続きました。水草は水中の二酸化炭素を使って光合成を行い、その時に生み出される酸素によって魚やバクテリアが活動するといふ生態系が出来上がっているのです。

キリスト者で言えば、教会の中でみ言葉をいただき、そこから生み出される言葉や働きが隣人を助け、命の息を与え、社会への貢献にもなる。少数派でも使命は大きいのです。



③ 宣教と公共性

宮本 新
(田園調布教会牧師
日本ルーテル神学校講師)

イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病氣や患いをいやされた。(マタイ福音書9・35)

れ動いたとしても、放射線量は人の気持ちで変わるものではないと、意識をもって「見えない放射線に目を向けていく」視点の大切さを改めて感じます。



「たちね」の活動報告や会報等は法人ホームページ(<http://www.wakisokutei-shitu.com/>)に詳細が掲載されています。かわらぬ支援をどうぞよろしく願います。



JELC公式ホームページには教育や福祉など様々な関連事業・団体が紹介されています。その他の草の根活動も含めると、相当なネットワークを形成しているように見えます。しかしなぜ教会はこれらにかかわるのでしょうか。JELCの場合、伝道(宣べ伝え)、教育(教え・育ち)、奉仕(いやし)といった包括的な宣教理解を育んできました。「教会×公共」の強力な接点は宣教にあります。それだけに、自分たちが何を宣教だと思っているのかは欠かせない考察になります。

ルター派の傾向として、「キリスト者として生きる」というとき、市民社会で公共善を求める宣教活動が重視されてきました。市民社会の基礎にはリベラル・デモクラシーがあります。国内の宗教全般を取り囲む事情もあります。1960年代以降国内外の宗教界全般に「教団ばなれ」という現象が起りました。その後のカルト問題もあり、キリ

スト教の福音伝道も「教団ばなれ」と複雑な絡みを見せています。他方で、(愛や公正)や(義を社会で実現することも宣教だと考えられました。「社会の福音化」などと言われることもあります。

しかし宣教や奉仕と公共善を重視することにズレが生じることはないのでしょうか。これは難問のひとつだと思えます。もし「ズレ」が生じるならば、それは埋められるべき「ミソ」なのか、それとも埋めてはいけない何かなのか、その見極めは難しいのです。公共性の高い内容ほど信仰を越えた賛同者や仲間が増えてきます。宣教はいつも揺らぎの中に置かれています。

キリスト教はそのはじめから「世界」を強く意識してきました。しかし実際に「全世界」や「すべての人々」という聖書の言葉をグローバルな現実として教会が考え始めたのは20世紀のことです。普遍や世界性は数や範囲の問題よりも互いのコミュニケーションとネットワークの問題として考え直されています。ウェブに広がる公共性。まだまだその模索ははじまったばかりです。「信仰は聞くこと」(ローマ10・17)も新しい釈義の時代を迎えようとしています。



ルター時代のエルフルト

ヨーロッパでは今でも大学の数はずっと少ないが、当時はもっと少なかった。父親が事業に成功し、町の名士になり、経済的余

裕もあったから、学業に秀でていたルターは大学に進むことができた。エルフルト大学はいわゆる「有名大学」で、この大学に行つたことが、ある意味でルターその後の人生を決定した。この大学は「ヴィア・モデルナ」(現代の道)という学風で知られていた。

当時のヨーロッパには、「ヴィア・アンティクワ」(古い道)と「ヴィア・モデルナ」という二大学風があつて、伝統的な学問的態度と新たな態度とが対立していた。大きな違いは「認識論」にあつた。「ヴィア・アンティクワ」は、「普遍」は実際に存在していると考へたのに対して、「ヴィア・モデルナ」は、「普遍」は単なる名称に過ぎず、実在してはいない、と考へた。「普遍」とは、「太郎」や「花子」という具体的な

宗教改革500年に向けて ルターの意義を改めて考える

(新シリーズ3・通算50)

ルター研究所長 鈴木 浩



人のことではなくて、太郎や花子を人間たらしめている「人間性」のことである。美しい花や美しい音楽を美しくしている原理、つまり「美そのもの」が「普遍」ということになる。それが実在しているのか(実在論)、単なる名前に過ぎないのか(唯名論)、中世ヨーロッパの哲学の最大の問題であつた。エルフルト大学はこの唯名論の大牙城であつた。

実在論は「真理」「美」「正義」といった抽象的な事柄に関心を集中し、唯名論は、個々具体的な事柄に関心を集中するということ。違つた学風を持つていた。



⑨逆らうものに面して

みことばによりて 主よ、われを支え (教会讃美歌240番)

私は教会讃美歌の編集には関わらなかつた。ドイツ留学から帰国した頃には、もう有名な、めばしい讃美歌の訳者は先輩たちに占められていた。しばらく経つてから、訳のめどが立たないドイツ語の讃美歌が出てくると、それは私のところに回つてきて、結局全部で24曲も訳すことになつた。その内の一つが「み

ことばによりて 主よ、われを支え」である。宗教改革を弾圧しながら勢力争いを続けていた教皇と皇帝の絡むヨーロッパの政治情勢、十字軍の報復として大軍を送つて再三ヨーロッパ侵入を試みる大国トルコという、一見どうにもならないように思えた情勢の中で、ルターは三位一体の神の守りを歌う短い讃美歌を1541年頃に作詞し、「今こそ来ませ」(教会讃美歌1番)のラテン歌詞に付されたメロディーをこの場合は別に展開してメロディーとした。ルターの原詩には時代

を反映して「教皇とトルコ」と出てきて、バッハの時代もそう歌われていた。近代になつてようやくこれは「仇をなすもの」に変えられたのである。バッハは1724年、当時の受難節の主日のために、このコラールを軸に、不明の詩人の詩を加えた上、ルターの「恵みをもつてわれわれに平和をお与えてください」というコラールで結びとするカンタータを作曲した。

近年の日本自身、日本をめぐる状況もその明らかで、深刻なケースである。平和と唱えて逆への道を進もうとし、繁栄を唱えて貧しい者からの収奪すらはばかるところがないのが見えている。いつの時代も逆らうものに面して、主の恵みを信じつつ、この歌を歌い続けねばならないことだろう。



ルーテルアワー biblestudy.jp

「ルーテルアワー」のサイト [てあなたの部屋]より

⑥まるごとのあなたが 2コリント5・16~21

伊藤早奈

神様、私たち一人一人に新しい目覚めをありがとうございます。この目覚めを淡々と迎えてはいけないのでしょうか? だるい気持ちで面倒だなあと思ひながら迎えてはいけないのでしょうか? 神様から与えられるものは全てありがたいお受けしなくてはならないので

しょうか? 私たちにはいろいろな思いがあり、いろんな出来事に出会います。それらを一番わかつてくださり、一番、私たちの気持ちに寄り添ってくださるのも神様です。神様、あなたに全てを打ち明けられる私たちでありますように。神様、あなたに全てをお委ね致します。このお祈りを主イエス・キリストのお名前によってお祈り致します。アーメン

和訳しなくても私は生きていけるよ。聖書は何を言つてるのかしら?」と戸惑いがあるかもしれせん。ある朝、私は新聞の二つの記事の大きさの差にとても驚きました。記事の一つは「人の命を考へる」というもので、もう一つの記事は劇場で行われる公演の宣伝記事でした。劇場の記事は紙面の半分ほどを占めているのに対して、「人の命を考へる」という記事はとて小さいものでした。

私たちが目で見えず手でも触れられないもの、目で見えて手で触れられるものとの両方持っています。その価値観は時と場合によつても違ひ、人によつても違ひます。ただ、どちらかと言つて目で見えて手で触れられるものの影響を受けやすく、目で見えず手で触れることのできないことを後回しにすることが多いような気がします。

目で見えず触れることのできないものは、良いものなのか悪いものなのか判断が難しいことがあります。その基準として「イエス・キリスト」という存在が私たちに与えられる存在に与えられる大切なものなのです。



宗教改革500年イベント「ドイツフェスタ」報告

宗教改革運動は、それによって神の言葉への注目を促し、当時の社会に大きな変革をもたらして

いくこととなりました。それは1517年に始まりましたが、一方でその前年に定められたある法律が、多くのものに変化を生じさせる宗教改革による激動をくぐり抜け、変わることなく受け継がれました。そしてそれは現代においてもドイツ社会に大きな影響を与えています。「麦芽、ホップ、水」(後に酵母も)のみを原料としなければならぬと定められた法律、「ビール純粋令」です。

ことを知ったのは東京都内でドイツビール専門店を運営する業者の方との打ち合わせのことでした。「500年」そして「ドイツ」というキーワードで、ビール専門店がこの日本においてルーテル教会と結びつくことになりました。

00年事業特命大使であるマルゴット・ケースマン牧師をお迎えしての集会でもありました。ケースマン牧師は、主日礼拝において「私たちは国際的な信仰共同体世界的・エキュメニカルな交わりの中で、これを祝おうとしている。神の出来事がそこにある。神の目が私たちをとらえ

午後からは宗教改革500年への関心を広げるために、教会内に限らず一般に開かれた集会とすべく企画しました。ケースマン牧師を含めたトークセッションでは、ケースマン牧師より、かつての改革を感謝するのはなく、争いから交わりへとというプロセスを歩んでいること、また歴史的には1600年代の30年戦争、またルターが反ユダヤ教であったのをナチスがホロコーストを正当化するために使ったことを踏まえ、宗教改革500年を和解と癒やしの祈りを合わせる機会とす

ることなどが述べられました。加えてユダヤ教・イスラム教とのエキュメニカルな対話を進める計画について、また当時ルターが活版印刷というメディアを使ったように現代の新しいメディアを使い宣教の機会としていきたいとの計画についても伺いました。

関係者を中心とした音楽家による演奏、宗教改革とルターに関するクイズ、ルーテル世界連盟による宗教改革500年運動を担うヤングリフォーマーからの報告。それに500年守られた伝統が引き継がれているビール、そしてドイツ料理が専門店の協力を得て楽しむこととなりました。

この度左記の行為を致しますので、宗教法人法第23条の規定に基づき公告致します。2016年7月15日 宗教法人 日本福音ルーテル教会 代表役員 立山忠浩 信徒利害関係人 各位 日吉教会建物取壊 所在地 横浜市港北区下田町 1丁目670番地2 所有者 日本福音ルーテル教会 家屋番号 670番2

熊本地震 支援活動報告

日本福音ルーテル教会九州教区救援対策本部 「2016年6月10日付 対策本部報告⑥」

対策本部長 岩切雄太

熊本地震から2ヶ月が過ぎようとしています。熊本県災害対策本部が発表している熊本県の避難者数及び避難所数の状況を見てみると、避難者数及び避難所数が最も多かったのが、4月17日

す。その日の熊本県内の避難者は18万3882名、避難所として開放されたのが855箇所です。同様の対策本部の発表を見ると、6月7日現在、147箇所、6月7日現在、104名の方が避難されています。

6月7日現在でも2132名の方が15箇所の避難所に避難されています。もちろん少しずつ避難されていった方々が自宅(その他)に戻られているわけですが、県全体の1/27の減少に対して、益城は1/4の減少に止まっています。また、避難所数は5/4と増えています。

本部は、震災直後から益城にある公的避難所のひとつ、広安愛児園・こどもL.E.C.センター内避難所を拠点として、NPO法人わかちあいプロジェクトと連携して支援を続けています。ここで

の主な支援活動は、休憩所(カフェ)を通じた支援と地域支援(片づけ・引越支援)です。休憩所(カフェ)には、避難されている方々だけでなく、避難所を運営している町役場の職員、またキリスト教児童福祉会の職員の方々も休憩にいられます。そこでの会話を通して、避難者の困りごとや地域のニーズを聞き取り、そのニーズに対して地域支援(片づけ・引越)を行っています。また、地域の自治会長(区長)からの要請を受け、ボランティアセンターからなかなか人が送られて来ない場所に入り、瓦礫処理等の支援が本格化してきました。

「助けてほしい」という声に、公平(均質)や効率という名の格差をつけることなく、耳を澄ませ寄りそっていくもの

でありたいと取り組んでいます。引き続きお祈りやご支援をよろしくお願ひいたします。

新会堂・牧師館建築のために旧礼拝堂部分を取り壊すため。理由 種類 教会・居宅 面積 231・59㎡ 1階 231・59㎡ 2階 121・16㎡



熊本地震日本福音ルーテル教会九州教区対策本部 「できたしこルーテル」 サイト https://www.facebook.com/kumaeqhq/

連絡先情報 横濱教会メールアドレス yokohama@jlc.or.jp 清事尚弘牧師(定年教師)住所 〒223-10064 神奈川県横浜市港北区 下田町4-1-1 サンヴァリエ日吉 12棟410 電話045-594-18535